



東海中だより

平成22年5月24日
品川区立東海中学校
TEL 3471-6951
FAX 3471-6370
校長 細越 政道

「小中一貫教育の推進に向けて」

校長 細越 政道

時折、夏のような陽射しが降り注ぎ、新緑がまぶしい季節になってまいりました。春から夏へと、季節は着実に歩みを進めております。これからの梅雨入りまでの時期は、動植物が一番生き生きと見えるすがすがしい季節です。東海中では、1学期のビッグイベントである運動会に向け、実行委員会の発足、ダンスリーダーによる振り付けと構成企画、応援団の選出... と、躍動感あふれる取り組みがスタートしました。

さて、先日本年度1回目となる、小中連携グループ合同研究会を城南小学校にて行いました。本グループは、城南小学校・浅間台小学校・城南第二小学校及び東海中学校の4校で構成されており、さまざまな面で連携し、小中一貫教育を推進してまいります。小中学生が1つの校舎の中で学習している「施設一体型」ではない、いわゆる「施設分離型」の学校では、連携の様子が見えにくいかもしれませんが、どの学校も小中一貫教育の視点に立って着実に教育活動を営んでおります。

ところで、そもそも品川区ではなぜ小中一貫教育を他の自治体に先駆けて始めたのか、今一度原点に立ち返ってみたいと思います。

一貫教育以前の学校は、義務教育9年間と言いながら、小学校と中学校が全く別の学校風土や慣習をもって別個に存在していました。小中学校の教員間に存在する、学力観や指導観、広い意味での教育観の違いが、子どもたちの学習上の負担になるとともに、人間形成上の連続性をも阻害していたと言っても過言ではないと思います。そして、心理的にも身体的にも不安定である小学校から中学校へ上がる時期の子どもたちが、そのギャップに戸惑っていたというのも事実です。

これを払拭し、小学校から中学校へのスムーズな進学を実現するために、小中一貫教育の構想が生まれました。この考え方に基づき、一貫教育を区内すべての学校で展開し、成果を上げながら今日に至っております。

私は、この3月まで区内の小学校にいましたが、それまでは20数年間ずっと中学校で勤務しておりました。突然の小学校への異動でしたが、さほど違和感を覚えず、スムーズにとけ込むことができました。これも本区の一貫教育の考え方が浸透している証拠だと言えます。

本連携グループでは、この合同研究をベースに、小中学校の垣根を取り払い、それぞれの教員が自己改革を図りながら、子どもたちがスムーズに小学校生活から中学校生活に移行していけるよう努めてまいります。どうかこれからも、ご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

<礼法指導が実施されました!!>

今年度も礼法指導が実施され、上級生が新入生に東海中学校の生徒としての行動を示しました。「礼」という号令の後、頭を下げた後から元に戻すまでのタイミングに慣れていない新入生は、全体より早く頭を上げてしまい、あわてて頭を下げるといった光景が見受けられました。来年は新しく入学してくる後輩の指導ができるように、東海中学校の素晴らしい礼法を日々実践していきましょう。



<7年生に拭き掃除の指導が実施されました!!>

新入生に対する東海中学校の拭き掃除の指導が本校体育館で行われ、新入生が初めて拭き掃除に挑戦しました。緊張感が漂う中、先生の説明を聞いた後、一言もしゃべらず黙々と拭き掃除に汗を流しました。校長先生も拭き掃除に参加され、自ら雑巾を手に体育館の床を拭くひたむきな姿に、新入生は大いに励まされました。



<生徒総会が実施されました!!>

5月21日(金)、本校体育館で生徒総会が行われました。生徒会役員の生徒を中心に準備を進めていき、委員会やクラスから今後の目標が発表されました。生徒会の活動は、生徒全員が支え合い盛り上げていくものです。生徒一人一人がそのことを自覚してしっかりと会が運営されました。みんなで決めたルールを守り、東海中学校の先輩が築いてきた伝統を受け継ぎ、これまでの取組に新たなものを加えながら、東海中学校を素晴らしい学校にしていきましょう。



<部活動報告!!>

- 吹奏楽部 品川運河まつりで演奏
- 卓球部 品川区春季大会 団体準優勝
- サッカー部 品川区春季大会 第3位
- バスケット部(男子) 品川区春季大会 第3位



